

6/19早稿

立つ」「ある程度役立つ」が計52・9%で「役立たない」「あまり役立たない」の計41・6%を上回った。

望ましい衆院解散・総選挙の時期は「来年九月の自民党総裁選までに」が32・4%で最多。「できるだけ早く」が15・2%で最も少なかった。

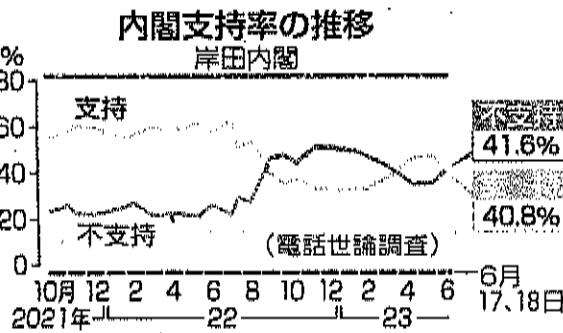
来秋マイナ保険証72%反対

全国世論調査 内閣支持40%に下落

共同通信社が十七、十八両日に実施した全国電話世論調査によると、現在の健康保険証を来年秋に廃止してマイナンバーカードに一本化する政府方針に関する延期や撤回を求める声が計72・1%に上った。岸田内閣の支持率は40・8%

た。=関連⑦面、詳報③面 内閣支持率の下落は、マイナカードを巡り相次ぐトラブルや、首相の秘書官を務めていた長男が公邸で親

で5月27、28両日の前回調査から6・2%下落した。不支持率は5・7%増の41・6%となつた。少子化対策で新たに必要となる三兆円超の財源について、具体的な説明に「納得できない」が72・7%に達し



族と忘年会を開き、公的スケーズで記念撮影していた問題などが影響したとみられる。

マイナカードの活用拡大を巡り、「不安を感じている」「ある程度不安を感じている」は計71・6%。来秋の現行保険証廃止は「延期するべきだ」が38・3%、「撤回するべきだ」が33・8%で「予定通り廃止するべきだ」は24・5%だった。

政府の少子化対策が少子化の進行に歯止めをかけるのに役立つかに関しては「期待しない」「あまり期待しない」が計66・3%。LGBTなど性的少数者の理解増進法が差別や偏見の解消に役立つかは「役

立つ」「ある程度役立つ」が5%、立憲民主党8・1%、日本維新の会13・6%、公明党2・7%、共産党4・5%、国民民主党3・1%、れいわ新選組2・3%、社民党0・6%、政治家女子48党0・2%、政党1・0%。「支持する政党はない」とした無党派層は26・3%だった。

自民、公明両党の連立政権をひづけるべきかは「解消するべきだ」が59・6%に上った。

マイナトラブル 政権直撃

共同通信世論調査で、マイナンバーを巡る相次ぐ混乱が政権を直撃した。内閣支持率が下落し、国民の根強い不信感が浮き彫りとなつた。全国余中の衆院解散を発表した岸田文雄首相は、信頼回復を急ぐ。ただ対応を誤れば世論のむらなる離反も予想され、首相が見据える秋以降の解散戦略は不透明感を増している。=●面参照

■旗振り役 岸田政権はデジタル社会の基盤としてマイナンバーカードの普及へ旗を振ってきた。だが公金受取口座のひも付けの際に誤って他人名義の口座を登録した事案などが続発。世論調査でマイナンバーの活用拡大について「ある程度不安を感じている」「不安を感じている」は合計71・6%に達した。

「ある程度」を含め「不安を感じている」と答えた

人のうち、岸田内閣を「支持しない」は47・8%で、「支持する」の35・2%を上回った。首相はマイナンバーのデータを今秋までに総点検するよう指示し、早期収拾を図る意向だ。

共産党の小池晃書記局長は、来年秋に健康保険証を廃止しマイナカードに一本化する政府方針を舌鋒鋭く批判。取材に「これがだけのトラブルが起きており、取り返しのつかない問題が起

自公のあづれきも影響か

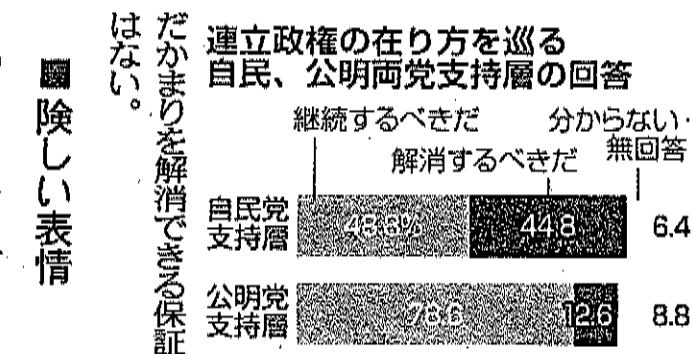
「うかねない」と訴える。与党内からも「紙の保険証と併存するアイデアもある」（公明党の山口那津男代表）との意見が上がる。

■ぞくしゃく

与党内もぞくしゃくする。自民、公明両党の連立政権の在り方を尋ねたところ、自民党支持層では「連立政権を継続するべきだ」48・8%、「連立政権を解消するべきだ」44・8%とほぼ拮抗した。78・6%が「継続するべきだ」と回答した公明党支持層とは対照的な結果となつた。

自民中堅議員は、昨夏の参院選の際も相互推薦に関するあづれきが生じた」と例に挙げ「公明に振り回されたケースが増えた。自民支持層の中にもう満がたまつていて表れた」と党内の空氣を代弁してみせる。

今月下旬には、自公は次期衆院選の選挙協力に関する基本合意文書を締結する



ただ自民党内の関係者は一様に険しい表情だ。閻僚経験者は、焦点となる衆院解散の時期について「秋に解散は難しいだろう」と懸念する。首相と距離を置くグンドに転じなければ年内解散は難しいだろう」と懸念する。首相と距離を置くテランも「焦つては駄目だ。来年秋の党総裁選で再選を決めてからでも遅くない」と語り、来年以降への大幅な先送りを提案した。